

平成30年9月吉日

一般財団法人 東京都トラック協会

東京ガス株式会社

大型天然ガストラック 試乗会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび大型天然ガストラックの試乗会を日本自動車研究所 城里テストコース（東茨城郡城里町）を貸し切って下記のとおり開催いたします。重量積載や坂道走行など、実際のご利用シーンを想定した試乗をしていただきます。この機会にぜひご試乗、ご体験いただければ幸いです。

敬具

記

1. 開催日程 : 平成30年10月18日(木)、19日(金)、20日(土)の以下時間帯で1社さまあたり1時間程度とします。【完全予約制】
なお、10/19終日と10/20の一部については、特定のお客さまグループ向けに試乗イベントを実施しています。時間調整によっては試乗可能な時間帯が発生する可能性があります。それについては後日改めてご案内差し上げます。
2. 開催場所 : 一般財団法人 日本自動車研究所 城里テストセンター
(所在地 茨城県東茨城郡城里町大字小坂字高辺多 1328 番 23)
3. 試乗車両 : いすゞ自動車 大型天然ガストラック GIGA-CNG 4軸低床 (AMT) 他
4. 主催 : 東京ガス株式会社 NGV 事業室
5. ご来場方法 : 会場までお車、あるいは公共交通機関を利用してお越しください。
乗用車の場合は常磐道水戸インターから20分程度。北関東道笠間西インターから25分程度で現地。
JR 水戸駅もしくは JR 友部駅まで電車にてお越しのお客様には弊社にて送迎車両の用意があります。(弊社人員の都合上 事前予約制とさせていただきます。)
また 19 日をバス招待デーとしておりますので前日泊のプランとなります。別紙にてご案内いたします。【定員 35 名程度】

※ご希望を平成30年10月01日(月)までにお知らせいただきますようお願い申し上げます。ご希望いただいた各社さまのスケジュールを調整し、10月上旬までに詳細をお知らせいたします。

(お問い合わせ先) 東京ガス株式会社 NGV 事業部 普及推進 G 電話 03-5400-6772

担当 : 町田、松井

『大型天然ガストラックの実証走行』を実施

関西⇄関東エリア片道を**1充填**で走行!

走行結果：ディーゼル車と比べ
走行距離当たりの**CO₂排出量を10%以上低減**

このほど、大型天然ガストラックの実証走行を運送事業者様（㈱エコトラック様）のご協力のもと、東京ガス株式会社様、大阪ガス株式会社様、東邦ガス株式会社様からの事業委託を受け（一財）環境優良車普及機構が「大型天然ガストラックの実証走行」を実施。約1ヶ月にわたり、走行データを収集し、大型天然ガストラックと大型ディーゼルトラックとの燃費、燃料費、CO₂排出量の比較を行う実証走行を実施いたしました。

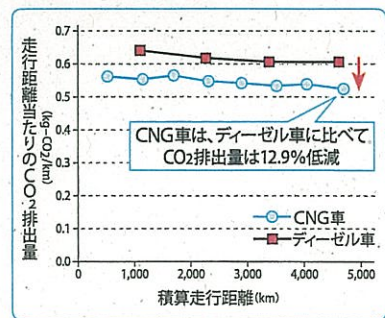
【調査方法】 関西⇄関東間を運行する運送事業者様の営業走行において、同一ドライバーによる運転、概ね同一の走行ルート及び同一積載物（ほぼ同じ積載量）等、極力同一条件で走行し、CNG車とディーゼル車を1週間に2往復の運行にてデータ収集を実施、燃費は満タン法で計測。

【対象車両】 『いすゞ大型トラック「ギガCNG車」4軸低床MT、型式 QFG-CYJ78B』
『いすゞ大型トラック「ディーゼル車」4軸低床MT、型式 QKG-CYJ77B』



ギガCNG車は㈱エコトラック様導入車両、可能な限りCNG車と同等な仕様のディーゼル車を選んで実証走行。

【調査結果】 関西⇄関東をCNG車4往復、ディーゼル車4往復走行の結果、燃費は「ギガCNG車が4.36km/m³」、「ディーゼル車が4.27km/l」、燃料使用量から求めたCO₂排出率を比較すると、CNG車が0.526kg-CO₂/kmであったのに対しディーゼル車は0.604kg-CO₂/kmであり、今回調査を行ったCNG車はディーゼル車に比べて走行距離当たりのCO₂排出量が12.9%低いことが示された。また、CNG車の片道走行後、燃料のCNGが約2割残っており、余裕を持っての走行が可能であった。※東京ガス(株)様、大阪ガス(株)様のCO₂排出係数を使用し算出



実用性に関するドライバー・運行管理者へのアンケートによると車両の比較において、発進加速性能・追越性能・エンジン始動性の点ではディーゼル車に及ばないが、騒音・振動・排出ガスの低公害性については、CNG車の方が高評価を得ている。

大型天然ガストラックは『先進環境対応トラック・バス導入加速事業』（執行団体＝(公財)日本自動車輸送技術協会(JATA))の補助事業もあり、益々の普及が期待されます。

